

楽しくつながる日本語教室が、宝コミュニティセンターで始まりました。日本語・日本文化を学びたい小学生～高校生が対象で、第2・3・4土曜日の10:00～11:30に開催されます。1回目は、10人の参加がありました。「居場所×交流×学び」のコンセプト通り、学年や母国が異なる参加者の交流と学びが深まるような工夫と支援がされていました。



自己紹介



▲自己紹介から始まりました。名前・誕生日・好きな色を紙に書き、みんなの前で発表しました。その後、名前を文字毎に切って封筒に入れ、シャッフルして再度配り、元通りに並べる名前順番をゲームをしました。文字を覚えるゲームです。

ジェスチャーゲーム



▲小学生は、ジェスチャーゲームをしました。カードを引き、示された内容をジェスチャーで伝えます。知らない言葉は、スタッフが携帯を使って伝えていました。「お好み焼き」は全員が知らなかつたので、一緒につくってみたいと言っていました。

参加者の声

- ・先生がやさしくて大好きです。お姉さんたちもやさしいので、来るのはたのしいです。
- ・国のことばで話してもだれも笑わないから、安心してお話ができるうれしいです。
- ・ゲームみたいに、新しい日本語を勉強できるので、たのしいです。

主催者の声

- ・親の仕事で海外で暮らした際、学校では言葉が分からぬ私に英語の勉強から支援してくれたので、自然に溶け込むことができました。日本では、言葉の壁で孤立してしまう子どもたちが多いので、自分がしてもらったことをお返ししたいという思いで始めました。
- ・将来を担う人材として同じように地域で育ってほしいので、学区で支援することにしました。



▲12月31日に来日したばかりの中学生です。初めてなので、個別に対応していました。日本語の基本である五十音のひらがなとカタカナは勉強してきたということで、カードを並べて確認をしました。すべて正しく並べることができ、努力がうかがえました。